

◇ 田中電気の情報発信NEWSレター ◇



明けましておめでとうございます 本年も何卒よろしくお願い申し上げます



新年のご挨拶 代表取締役社長 田中 良一

明けましておめでとうございます。本年は秋葉原の本社内にショールーム(展示場とセミナールーム)を開設する予定でございます。業界の最新情報のセミナーや、様々な実機を展示し、使い心地を実感していただきたいと思っております。田中電気のこれまでの実績、施工例など豊富なノウハウを漏れなくお伝えする場所にしたいと考えております。どうぞご期待下さい。

今年も安全第一！ 安全管理の一貫として 『本所防災館』へ行ってきました



墨田区横川4-6-6 9:00~17:00 (休館日水、第3木曜) 入館無料 TEL03-3621-0119

J R 錦糸町駅から徒歩10分。防災館では、4階建ての施設を、約2時間かけてインストラクターが案内してくれる防災体験ツアーがあります。M6の直下型地震が東京でおきたと想定した3D映画を約20分観る事からはじまり、消火器・応急手当・煙・地震の各コーナーを安全管理委員10名で第一陣として参加してきました。3D映画ではガラスが飛び散る家の中で足の裏から血が出てしまったり、地下鉄に乗っている際地震に遭い地上へ逃げる時パニックになったりなどリアルな映像に、改めて災害の恐ろしさを実感し、勉強になりました。その他、地震体験コーナーではM7の信じられないほどの激しい揺れを体験したり、火事の際、全てのもものが燃える温度に達する時「フラッシュオーバー」と呼ばれる瞬間の物凄い轟音を聞いたり、恐ろしいの一言でした。煙は、吸うと1~3分で死に至る為体勢を低く保ちながら擬似の煙を吸わないように壁を伝って非常階段へ向かう煙体験コーナーも貴重な体験でした。煙が出たら必ず下へ逃げる！これが大切とのことです。本格的なツアー、一度体験してみては？

★お知らせ 第13回「震災対策技術展／自然災害対策技術展」<http://www.exhibitiontech.com/etec/>に出展します

当社は災害時の連絡手段として非常に有効な業務用無線システムの展示を行います。●2009年2/5(木)~2/6(金)●横浜国際平和会議場(パシフィコ横浜)●震災・災害への備え、緊急対応、救援復旧活動に関する展示会です。ご来場をご希望のお客様は招待状をお送りします。info@tanaka-denki.co.jp 0120-150-712 FAX 03-3253-1360 担当矢島まで！

上記に関するお問合せは、0120-150-712 または info@tanaka-denki.co.jp

秋葉原ファクトリーは田中電気のお客様のための窓口です

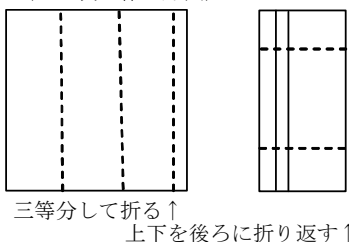
これは素敵！お正月のラッピングの作り方 「ポチ袋」と「花結び」

〈ポチ袋の作り方〉（写真左側）

- ①15cm四方の和紙の裏を上にして置きます②右端1cm裏側に折り返し、縦3等分し右が上になるように折ります（右端に角度をつけて折り返すと表の合わせが斜めになります）③上下2.5cmを山折にして出来上がり



〈ポチ袋の作り方図〉

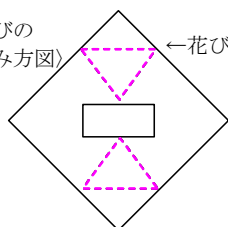


三等分して折る↑
上下を後ろに折り返す↑

〈花結びの包み方〉（写真右側）

- ①ふろしきの中央に箱を置きます②手前側と向こう側を花びらの高さ分折り返し箱の中央で合わせて持ちます③合わせた所を根元からギャザーを寄せ、絞り口をまとめて持ちます④左右の長い部分を絞り口の後ろで交差させ前で一結びします⑤形を整えて出来上がり（協力：山崎俊子）

〈花結びの包み方図〉



←花びら分折り返す



↑ギャザーを寄せ、
左右を後ろで交差



↑前で結び、
形を整える

寒い冬、アキバでオススメなお店

お好み焼き『ゆかり』(秋葉原UDXビル3F)

J R 秋葉原駅電気街口改札を出て右に進むと、アキバ・ブリッジと呼ばれる橋がありUDXビルに繋がっています。その3Fに大阪では8店舗を持つ人気店の『ゆかり』があります。東京での初出店がなんとアキバとのこと。本場大阪の味が楽しめます！ふわっふわのお好み焼きはお店の方が目の前で焼いてくれて特製ソース&マヨネーズでいただきます。寒い冬にオススメです！UDXには“アキバ ICHI”という約20店の飲食店があります。他にもオススメなお店がありますので又、ご紹介します。



SHOP DATA 千代田区外神田4-14-1
秋葉原UDX3FTEL：03-3526-3310 総席数 40席
11:00～23:00(オーダーストップ 22:00)

江戸の歴史 『成田山・深川不動堂』

シリーズ No. 24

明けましておめでとうございます。今年も是非ご愛読くださいませ。江戸時代、中でも元禄年間には江戸町人を中心として不動尊信仰が急激に広まっていった。この背景には、経済・商業の中心地としての江戸、又それを支える町人の経済力の飛躍的な増大が大きな原動力になっていた。

このような時期、成田山新勝寺は信徒数も増え、又寺格も、より高い本山へと大きく発展していった。そのような時江戸町人を中心に成田山のご本尊、不動明王を江戸で参拝したい。という気運が高まり、ついに1703年（元禄16年）4月に初の江戸におけるご本尊の出張開帳（江戸出開帳）が行われた。当時は犬公方と知られる5代将軍綱吉の治世、その母桂昌院が成田山の不動明王を江戸での参拝を希望し実現したという説もある。

成田山出発の総勢は300人を超える行列が生まれ、江戸まで1週間余りかけてご本尊が奉持され、2ヶ月にわたる開帳は江戸町人に大きな人気を博し、この開帳の場所が深川永代寺境内であり、これが深川不動堂の始まりのようです。

明治になり神仏分離令により永代寺は廃寺となり境内は深川公園となった。明治2年に現在の地に「深川不動堂」の正式名称が認められ、14年には本堂が完成するも関東大震災・第2次世界大戦と二度にわたり本堂が焼失、しかしながらご本尊は奇しくも災禍を免れた。

昭和26年に、当時千葉県印旛沼のほとりに建っていた龍腹寺1862年（文久2年）建立を深川に移築し復興して現在の本堂になっている。江東区最古の木造建築としてその傷みが著しく、平成3年大改修を施工し、平成14年開創300年を記念し、内佛殿が建立され、東都随一の不動霊場として山容を整え一層の活況を呈している。

(地下鉄東西線・門前仲町下車 2分ほど 深川不動堂ご案内参照)



編集後記 新年は素敵な和紙を購入してお正月ラッピングのポチ袋を活用してみたいと思っています。新年、気分も新たに一日一日を無事故、健康で大切にしていきたいです。リラックスタイムのお風呂では私はラジオを聴いています。それもNHKラジオ深夜便。日本列島暮らしの便りや世界中の今の話題、健康百話、音楽など、のんびり聴けてちょっと為になります。なにより目をつぶっていてもOK。TVもいいけどラジオもなかなかです。